

大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	47
2. 大学等名	小樽商科大学
3. テーマ	IV. 長期学外学修プログラム（ギャップイヤー）
4. 取組学部等名	商学部
5. 事業期間	平成27年度～令和元年度（5年間）

【公表】

8. 事業の概要（※400字以内）	（391.5文字）
<p>本学は、平成25年8月に「No. 1 グローカル大学宣言」を行い、学長のリーダーシップの下、グローバル時代の地域マネジメント拠点を目指した教育改革として、平成27年度に「グローバル・マネジメント副専攻プログラム」を導入した。本学が目指すグローバル人材の育成において、本プログラムの主専攻化をはじめとする教育改革を進めるにあたり、長期の学外学修を前提としたカリキュラムの大幅な見直しとそれを実現する学事暦の最適化、さらに前例の無い入学猶予制度を基礎とした本格的なギャップイヤー制度の導入を図ることで、高校から大学への進学、大学から企業への就職、地域コミュニティとの連携や海外の大学への留学など、学生の移行過程におけるブリッジプログラム（「グローバルブリッジ教育プログラム」と「地域連携ブリッジ教育プログラム」）を、初年次からの段階的・体系的な学外学修カリキュラムとして産学官連携の下で構築する。</p>	